

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	腫瘍の不均一な放射線感受性を考慮した細胞生存率モデルによる体幹部定位放射線治療効果の評価		
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院で体幹部定位放射線治療を受けた肺癌患者さん		
3. 対象となる期間	1997年 7月 1日 ~ 2018年 7月 31日		
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院 放射線治療科		
5. 研究責任者	氏名	嵯峨 涼	所属 大学院 保健学研究科 放射線技術科学領域
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません。		
7. 研究の意義	現在使用されている治療効果の指標は、癌細胞の放射線に対する生存率を予測するモデルによって計算されます。しかし、体幹部定位放射線治療のように、1回あたりに高線量を投与した際の生存率の予測精度が悪いことが知られています。この研究では、新たに開発された、高線量も精度良く生存率を予測可能なモデルを使用して治療効果指標を計算し直すので、治療線量と効果の関係を精度良く表現することが可能になります。		
8. 研究の目的	本研究の目的は、弘前大学医学部附属病院で実施された肺癌に対する体幹部定位放射線治療の治療効果を、新たに開発された細胞生存率を予測するモデルを用いて評価し直すことです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	附属病院放射線部で肺癌に対する体幹部定位放射線治療を受けた患者さんのデータを使用します。使用するデータは以下の通りです。 ・治療1回当たりの処方線量および総線量 ・治療期間 ・再発の有無 以上のデータを用いて治療効果の指標を計算します。患者さんのデータは附属病院放射線部の放射線治療データベースから該当する方を抜粋し、経過観察の情報を付加したものを使用します。		
10. 個人情報の保護	取得した各種個人情報は、氏名やIDの情報を削除し新たに別の番号を割り当てる事で匿名化します。また本課題により得られた成果を学会や論文等で公表する際には、個人の特정이可能な情報は使用しません。対象患者さんより拒否の申し出があった場合は対象者から除外しデータを削除します。ただし、すでに成果済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学領域 助教 嵯峨 涼		
	電話	0172 - 39 - 5962	FAX 0172 - 39 - 5957